

複数画像からのアイヌ工芸品のレプリカ製作

Replica Production of Ainu Craft from Multiple Images

ものづくり支援センター 安田 星季

■支援の背景

北海道教育大学が進めるアイヌ民族に関する研究¹⁾の一環で、ロシアのサハリン州郷土博物館に収蔵されている樺太アイヌ（樺太南部居住のアイヌ民族）の貴重な工芸品（木製椀）を撮影した複数のデジタル画像を元に、教材用のレプリカを製作する取り組みを支援しました。

■支援の要点

1. 専用ソフトによるデジタル画像からの色付き3Dモデルの生成
2. CGソフトによる穴埋め等の3Dモデルの修正、調整
3. カラー3Dプリント用データの作成
4. 5軸NC加工システムによる木製無塗装レプリカの製作



■支援の成果

1. アイヌ工芸品を撮影した約70枚のデジタル画像から、色付きの3Dモデルを生成しました。
2. レプリカ製作向けに、表面の平滑化、穴埋め等の修正、調整を施したモデルを作成しました。
3. カラー3Dプリントによる着色版と、木製無塗装版の2種のレプリカを製作しました。

北海道教育大学札幌校文化人類医学研究室 札幌市北区あいの里5条3丁目 Tel. 011-778-0696

※本技術支援で使用した5軸NC加工システムは、JKA補助事業により整備されました。

1) 「北海道・東北と樺太におけるアイヌ-和人間の北方交易圏に関する実態研究」(文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)、2019-2022年度)